

事務事業評価(事前評価)シート【令和6年度】

主管課(担当名)	【こども子育て課】	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	子育て環境整備事業(保育所)	事業番号	10872

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-04	児童保育の充実
	施策目標	多様化する保育ニーズに応え保育環境の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	経年劣化や破損に伴う補修及び保育環境の機能向上を目的とした保育施設整備を実施。
成果	施設の延命化及び施設機能の向上が図られ、児童が安心して過ごせる保育環境の向上に寄与する。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年 度	概 要						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
	R6	市立こまば保育所のボイラー室等補修工事						
事業費と内訳	(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
	事業費						43,259	43,259
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		ふるさと関連基金					40,000	40,000
		その他						
		一般財源					3,259	3,259
	人員(人工)						0.17	0.17
	職員費(人員×7,262千円)						1235	1235
	総事業費						44,494	44,494
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計／年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R5)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	改修施設数	-	-	3施設
			-	
			-	
			-	
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	保育環境の安全面や衛生面の向上が図られ、児童にとって快適に過ごすことが可能となる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	☐ かなりのニーズがある ☒ ニーズはある ☐ ニーズはあまりない 保育施設を利用する保護者から保育環境の充実についてニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	☒ 市が実施すべきである ☐ 市の実施について検討の余地あり ☐ 市以外で実施可能である 公設施設のため、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	☐ 緊急性が高い ☒ 緊急性はある ☐ 緊急性はない 昨今の猛暑等の影響により、保育環境の安全面・衛生面に支障をきたしていることから、早期に保育環境を改善する必要がある。
エ. 手段の適切性	☒ 適切である ☐ 現状として妥当である ☐ 検討の可能性はある 入所児童の安全面・衛生面を向上する観点から、適切であると考ええる。
オ. 事業の公平性	☐ 公平性は高い ☒ 概ね公平である ☐ 改善の余地はある 市内民間保育施設と同水準の整備が図られるため、公平である。
カ. 事業の有効性	☒ 本事業の有効性が高い ☐ 本事業の有効性がある ☐ 既存事業と大きな差はない 本事業の実施により、保育施設の安全面・衛生面の向上が図られることから、有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業推進を図り、子育て環境の整備のため保育環境の安全面・衛生面の向上を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	☒ 計画どおり着手が適当 ☐ 再検討し実施する ☐ 着手を延期する 今後も、計画的な保育施設の整備により保育環境の維持・向上に努めてまいりたい。

作成年月

令和6年7月